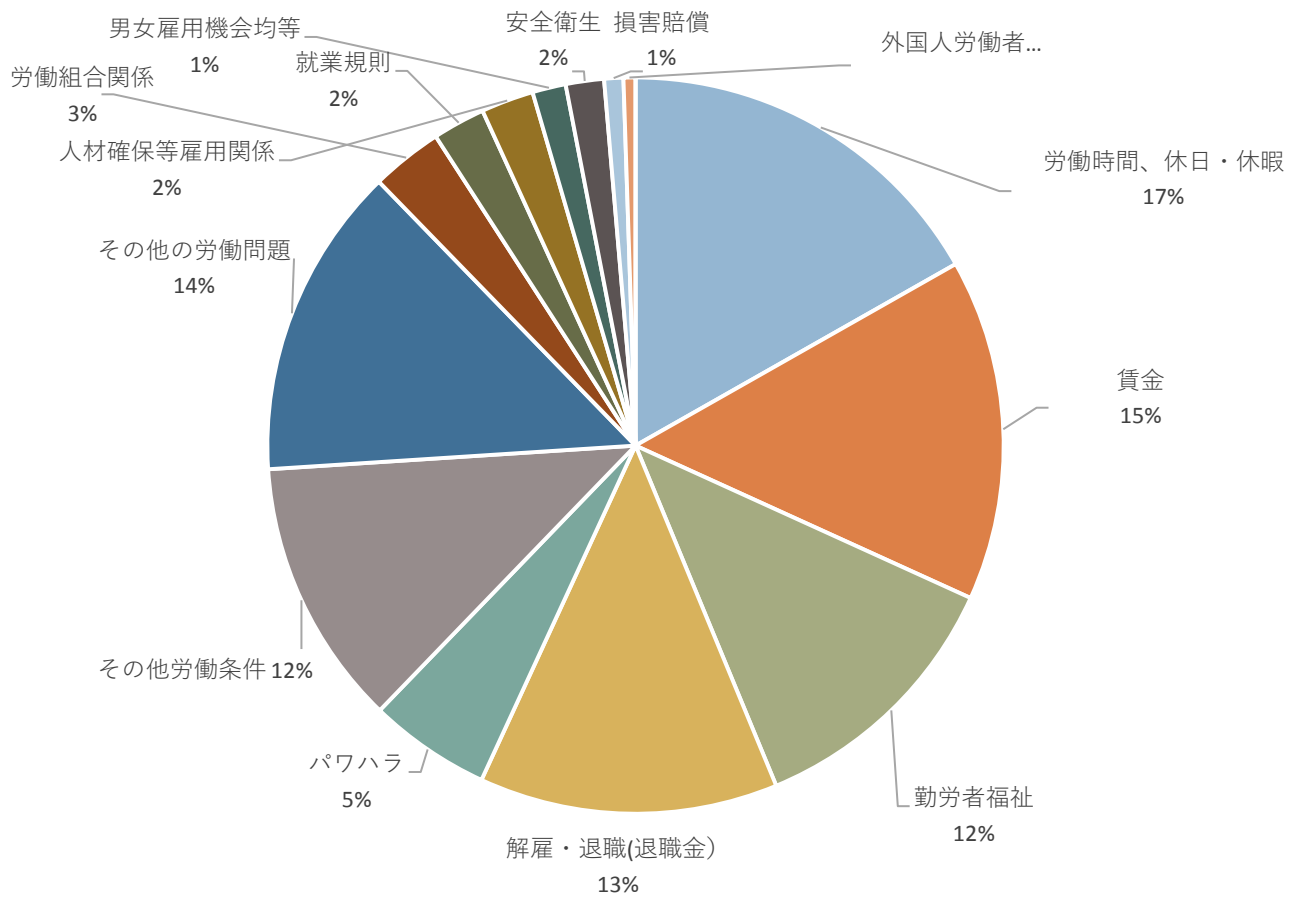


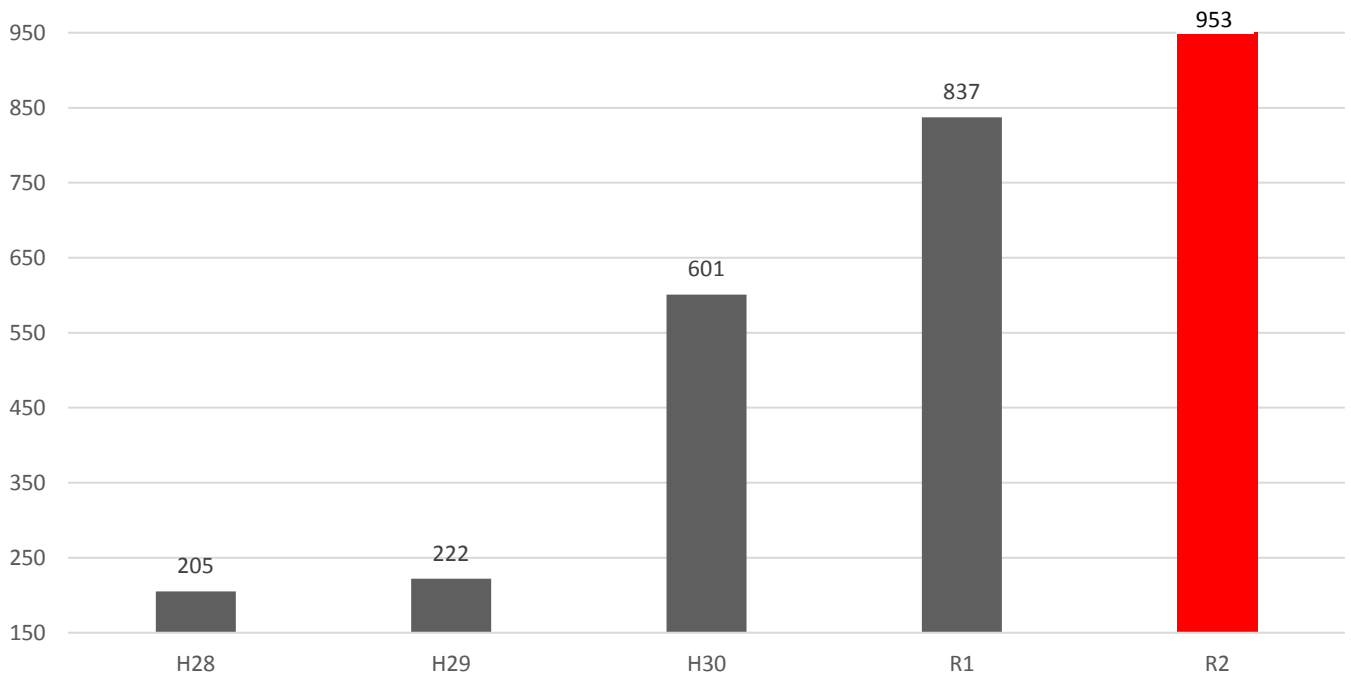
令和2年度に受けた相談内容の内訳



単位：件

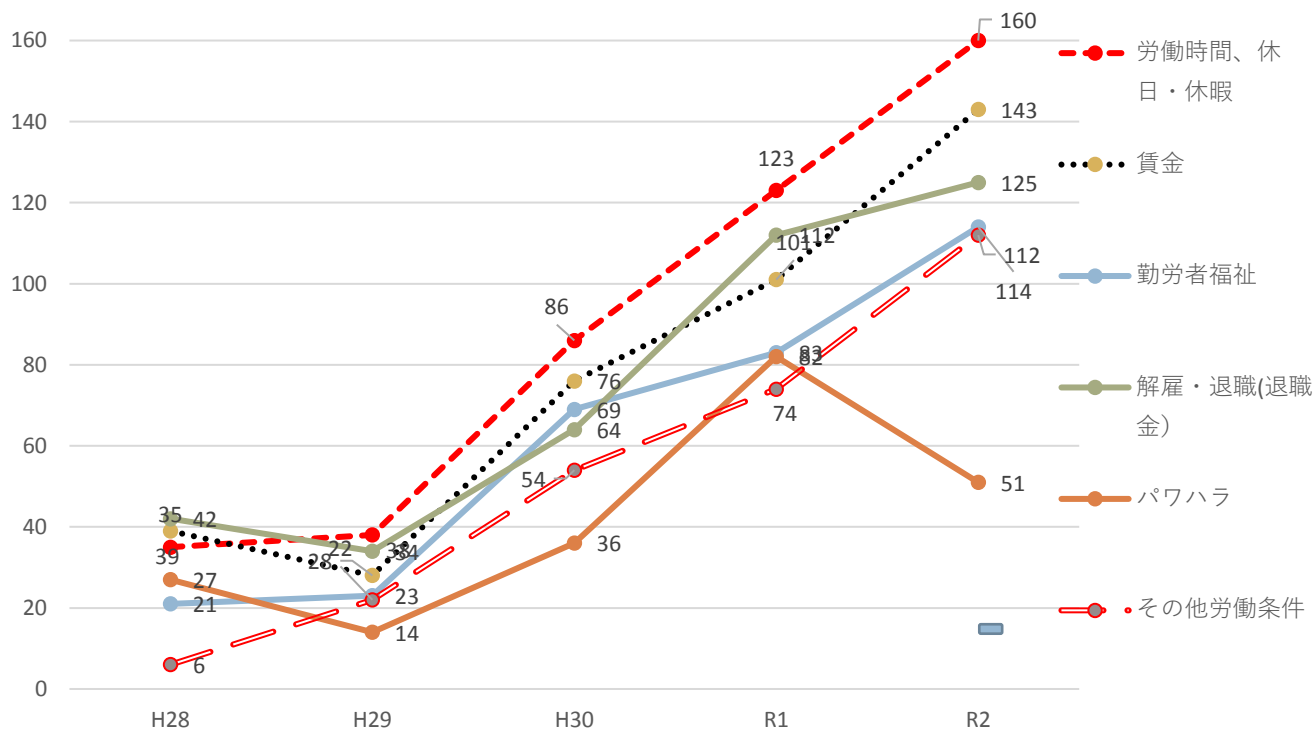
相談項目	H28	H29	H30	R1	R2
労働時間、休日・休暇	35	38	86	123	160
賃金	39	28	76	101	143
勤労者福祉	21	23	69	83	114
解雇・退職(退職金)	42	34	64	112	125
パワハラ	27	14	36	82	51
その他労働条件	6	22	54	74	112
その他の労働問題	22	34	107	109	131
労働組合関係	1	2	11	26	30
就業規則	4	5	42	41	22
人材確保等雇用関係	3	12	17	33	22
男女雇用機会均等	0	1	11	17	14
安全衛生	0	6	15	4	16
損害賠償	5	3	6	26	8
外国人労働者	0	0	2	4	5
職業能力開発	0	0	5	2	0
計	205	222	601	837	953

相談件数の推移（年次）



縦軸と数字は相談件数、横軸は年次を示す。

相談内容別・相談件数の推移



相談件数が多い上位項目の年次別推移である。(数字は件数)

上位2項目(賃金、労働時間)は、昨年度までは残業代の未払いに関するものが多く寄せられていたところ、令和2年度では新型コロナウイルス問題を受けて休業した事業所における休業補償や雇用調整助成金に関するものが多くなっている。

「勤労者福祉」は、解雇・退職やパワハラとの関連での相談が多い労災・社会保険に関する相談が大部分であるが、それ以外の事柄も含まれており、特に今年度特有の事情として、雇用調整助成金の受給を巡って雇用保険の加入に関連する相談も多く寄せられている。